



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 兵機海運株式会社

上場取引所 東

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,657	9.4	155	47.4	183	46.4	317	33.8
2020年3月期第3四半期	10,659	2.5	294	28.2	342	23.8	237	23.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 496百万円 (124.6%) 2020年3月期第3四半期 220百万円 (3.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	271.55	
2020年3月期第3四半期	202.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	11,682	2,973	25.5	2,545.92
2020年3月期	11,236	2,535	22.6	2,171.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,973百万円 2020年3月期 2,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				50.00	
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当金額は未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.0	80	70.6	100	68.6	70	56.8	59.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2.(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	1,224,000 株	2020年3月期	1,224,000 株
2021年3月期3Q	56,122 株	2020年3月期	56,122 株
2021年3月期3Q	1,167,878 株	2020年3月期3Q	1,167,878 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、経済活動の停滞や縮小を余儀なくされたことから、企業収益は大幅な減少が継続し、雇用環境の悪化を招き、個人消費も低迷するなど厳しい状況で推移しております。先行きにつきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の防止策が講じられておりますが、歯止めがかからない状況が続いており、不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総合物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの営業状況は以下のとおりであります。

①海運事業

内航事業では、主力貨物である鋼材の需要が回復傾向にあることから、期初に比べて輸送量も持ち直しが見られる近況ではありますが、依然として前年度後半よりの厳しい状況が続いており、売上高は4,162百万円（前年同期比15.5%減）と減収になりました。これに対して、備船料改定、運航形態の見直し等による輸送コストの軽減を図り、管理経費の削減を行いました。営業利益は78百万円（前年同期比50.4%減）と減益になりました。

外航事業では、自社船の主力貨物であるロシア向け輸出貨物の輸送が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現地での需要が減少し、船積みロットが縮小され運航効率が悪化しました。これに対して、他社船利用のスポット輸送の集荷に努めましたが、輸送機会は減少しました。その結果、売上高は897百万円（前年同期比31.1%減）と減収になり、管理経費の削減を行いました。営業利益は12百万円（前年同期比64.2%減）と減益になりました。

②港運・倉庫事業

港運事業では、新型コロナウイルス感染症拡大により世界的に経済活動が制限された影響を受け、輸出入ともに取扱量は低調に推移しましたが、新規安定荷主の受注に加え、比較的コロナ禍の影響を受けなかった肥料等の輸入と、内食需要の増大により運賃価格が高い欧州からの食品の輸入が増加したことから、売上高は3,528百万円（前年同期比4.1%増）と増収になりましたが、管理経費が増加したことと、輸送コストの負担増もあり、営業利益は16百万円（前年同期比74.3%減）と減益になりました。

倉庫事業では、港運事業での輸出入貨物の取扱量の減少により、それらに付随する作業収入が減少しましたが、2020年1月に営業を開始した兵庫埠頭物流センターの危険物倉庫が新しい収益基盤として順調に稼働したことから、売上高は1,069百万円（前年同期比2.7%増）と増収になり、新倉庫の償却負担の増加もありましたが、管理経費の削減に努め、営業利益も47百万円（前年同期比31.4%増）と増益になりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,657百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益155百万円（前年同期比47.4%減）、経常利益183百万円（前年同期比46.4%減）、特別利益に固定資産売却益269百万円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は317百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は11,682百万円となり、前連結会計年度末と比較して445百万円増加いたしました。

流動資産は3,811百万円となり、前連結会計年度末と比較して649百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加675百万円、前払費用の増加107百万円等に対して、その他に含まれる未収消費税等の減少128百万円等によるものであります。固定資産は7,871百万円となり、前連結会計年度末と比較して203百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の評価の上昇等による増加276百万円、社船建造に伴う建設仮勘定の増加175百万円等に対して、減価償却による固定資産の減少325百万円、固定資産売却に伴う固定資産の減少312百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は8,708百万円となり、前連結会計年度末と比較して8百万円増加いたしました。

流動負債は4,539百万円となり、前連結会計年度末と比較して130百万円増加いたしました。これは主に、その他に含まれる未払消費税等の増加128百万円、未払法人税等の増加72百万円等に対して、短期借入金の減少107百万円、支払手形及び買掛金の減少29百万円等によるものであります。固定負債は4,169百万円となり、前連結会計年度末と比較して122百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少176百万円等に対して、退職給付に係る負債の増加25百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,973百万円となり、前連結会計年度末と比較して437百万円増加いたしました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加185百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上317百万円等に対して、配当金の支払による減少58百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は25.45%となり、前連結会計年度末と比較して2.88ポイントの上昇となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想に関する事項については、当第3四半期連結累計期間の業績において、各利益項目が、2020年8月13日に公表いたしました「業績予想のお知らせ」に記載の数値を上回る進捗となっておりますが、2020年12月16日に公表いたしました「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の特別修繕費用を第4四半期会計期間に計上する予定であることに加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言が発出されるなど、依然として先行きは不透明なことから、現時点において、公表しております業績予想に変更はございません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,394	2,069
受取手形及び売掛金	1,472	1,461
原材料及び貯蔵品	22	19
前払費用	24	132
その他	249	130
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,161	3,811
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	6,295	6,056
減価償却累計額	△2,541	△2,599
建物及び建物付属設備(純額)	3,753	3,457
船舶	2,992	2,959
減価償却累計額	△2,084	△2,175
船舶(純額)	908	784
土地	1,526	1,526
建設仮勘定	—	175
その他	1,025	1,017
減価償却累計額	△493	△536
その他(純額)	531	480
有形固定資産合計	6,720	6,425
無形固定資産		
その他	160	39
無形固定資産合計	160	39
投資その他の資産		
投資有価証券	1,023	1,299
その他	198	133
貸倒引当金	△27	△26
投資その他の資産合計	1,193	1,406
固定資産合計	8,074	7,871
資産合計	11,236	11,682

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,054	1,025
短期借入金	3,197	3,089
未払法人税等	21	93
賞与引当金	3	0
その他	132	330
流動負債合計	4,408	4,539
固定負債		
長期借入金	3,726	3,550
船舶修繕引当金	34	51
退職給付に係る負債	414	439
その他	115	127
固定負債合計	4,291	4,169
負債合計	8,700	8,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,788	2,046
自己株式	△118	△118
株主資本合計	2,315	2,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	423
繰延ヘッジ損益	△16	△23
その他の包括利益累計額合計	220	399
純資産合計	2,535	2,973
負債純資産合計	11,236	11,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,659	9,657
売上原価	9,056	8,238
売上総利益	1,603	1,419
販売費及び一般管理費	1,308	1,264
営業利益	294	155
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	28	26
持分法による投資利益	8	9
受取保険金	11	0
その他	36	24
営業外収益合計	87	61
営業外費用		
支払利息	35	28
その他	4	4
営業外費用合計	39	32
経常利益	342	183
特別利益		
固定資産売却益	—	269
特別利益合計	—	269
特別損失		
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益	339	453
法人税等	101	136
四半期純利益	237	317
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	237	317

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	237	317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	185
繰延ヘッジ損益	△10	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△16	178
四半期包括利益	220	496
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	496
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて重要な変更はありません。